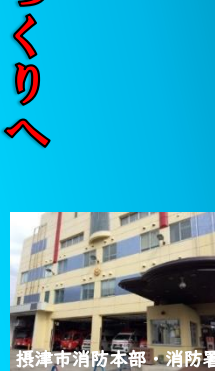


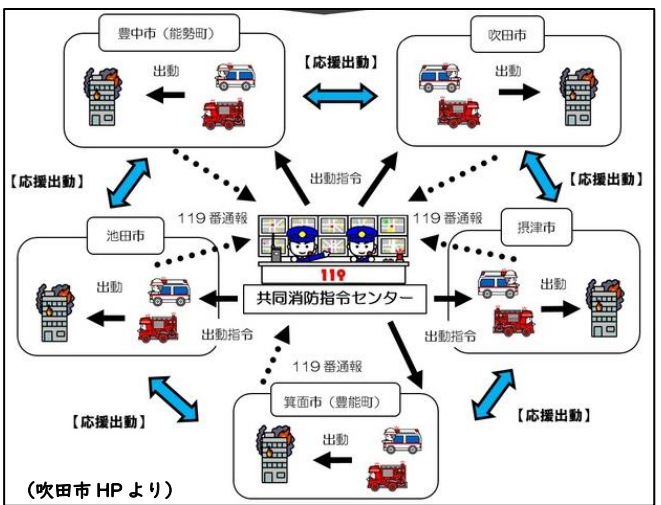
消防力の強化



知って欲しい！
安全安心のまちづくりへ

1. 進む、5市共同消防指令センター計画

令和4年度、過去最多の救急出動件数を記録！急増する救急出動には市の体制強化は勿論のこと、他市消防との広域連携強化が必要と、議会で提言してきた。今、その提言が着実に実現されている。



2. 消防本部に救急救命課が新設される。

今年、消防本部に「救急救命課」という新たな課が誕生しました。コロナ禍で激変する救急事情に対応できる組織構築となります。増大する救急出動への対応、救命率の向上を図ることや、庁内及び他市消防との調整の事務等を迅速に行います。これも提言の実現です。

3. 消防団に無線機を配備へ

令和5年度夏頃に、消防団の各分団にデジタル携帯無線機が配備されます。分団内の迅速な連携を可能にするともに、消防本部の現場指揮との連携強化も図るもので、迅速な消火活動や災害救助活動に貢献するものと期待されます。安全安心のまちづくりには、消防力の強化は必要不可欠です。目立たぬ取り組みですが、着実に進めていかなければなりません。元自衛官の経験を活かし、議会で提言して参ります。

市民生活に直結！

摂津市議会 令和5年第1回定例会
可決しました 「令和5年度予算」

学童保育や病児保育のサービス向上
子育て支援の拡充へ
進む給食センター構想

地域を守り、未来を育む！
新型コロナ
フクチン
臨時接種
健康被害
増加する
知って欲しい！
消防力の強化
安全安心のまちづくりへ
進む、賑わいの創出
JR千里丘駅西地区再開発



松本あきひこ
通信 Vol.10
令和5年 4月発行
事務所 摂津市別府 1-4-6-505
TEL 06-6349-2515

進む、賑わいの創出・つながりのまちへ JR千里丘駅西地区再開発



JR千里丘駅再開発は、本市の更なる発展が期待されている。令和9年の竣工・引き渡しに向け事業が進められ、令和5年度は事業の成否がかかる年となっている。成功に向けて妥協なきよう議会にて提言している。

1. 再開発の成功に向け、特定建築者の募集

JR千里丘駅西地区再開発は、現在のところ順調に進み、今年5月中旬から逐次、解体工事が始まります。また、現在、特定建築者の募集・選定も行われています。特定建築者は今後の施設建設やテナント募集、東口と一体化した運営などを行うとされており、この選定が再開発成功の鍵を握ります。私は議会にて目の短期的メリットよりも、長期的メリットをしっかりと実現することが地域にとっても大切で、そのことを具体化できるよう要望しました。

2. 解体工事着手へ

今年5月中旬からエリア内の解体工事が本格的に開始されます。解体工事要領については、事業者と市とで協議が行われます。概要としては歩行者空間を確保しつつ、銀行の仮設店舗や交渉中の場所など様々に考慮して、行われる予定としています。工事期間中において騒音や交通安全対策、市民への周知など、より丁寧な対応を市に要望しました。再開発の成功に向けて議会からしっかりと提言して参ります。



プロフィール
松本 暁彦
まつもと あきひこ
昭和58年生まれ ●関西大倉高校卒業 ●香川大学農学部卒業 ●陸上自衛隊(退職時1等陸尉) ●東日本大震災・PKO(ハイチ)で派遣活動に従事 ●前衆議院議員とかしきなおみ事務所元秘書 ●MBA(関西学院大学経営戦略研究科卒業) ●消防団 ●予備自衛官 ●座右の銘「時かぬ種は生えぬ」

この資料は摂津市議会等での活動をまとめたものです。

摂津市議会での予算審議

令和5年2月20日から同年3月28日にかけて摂津市議会第1回定例会が開催されました。摂津市の令和5年度の予算を議決するとても重要な議会となります。一般会計当初予算は455億1千5百万円で、昨年の当初予算より約10億円も多い、過去最大規模となります。理由としては、JR千里丘駅西地区再開発、阪急京都線連続立体交差事業などのインフラ整備が多く、市のICT整備も挙げられます。また、様々な市民サービスの向上も図られており、例えば学童保育の毎週土曜日の実施や高齢者向けの緊急通報装置の拡充などが挙げられます。これらで提言してきたことが実現しています。

市民生活直結！ 摂津市議会 令和5年第1回定例会 可決しました 令和5年度予算！

- 令和5年度の主要事業の紹介(抜粋)
- 1. 味生コミュニティセンター基本設計
 - 2. 千里丘小学校建て替え着手
 - 3. 淀川河川防災ステーション計画
 - 4. ビジネスサポートセンター相談枠拡大
 - 5. 郵便局と連携した児童生徒の見守り
 - 6. JR千里丘駅西地区再開発の推進
 - 7. 事業ごみの手数料高の激変緩和策
 - 8. 高齢者向け緊急通報装置の拡充
 - 9. 明和池公園3号街区人工芝生設計
 - 10. 鶴野での給食センター構想
 - 11. 学力向上へのキャリア教育推進
 - 12. 健都エリアマネジメント組織 等



ご挨拶
桜の季節。暖かくなりましたね。皆様はいかがお過ごしでしょうか。コロナ禍がようやく収束する様相の中、アフターコロナの社会活動が求められています。私も議会活動や陳情対応、地域活動だけでなくボランティア活動等も徐々に増えています。令和5年度での更なる活躍をお誓い申し上げます。どうぞよろしくお願致します。



OSAKA 防衛防災フェスティバル・スタッフとして

この資料は市議会議員松本暁彦の政治活動等の報告です。

学童保育や病児保育のサービス向上

子育て支援の拡充へ



令和4年に出生数が80万人を割り過去最少となった。そのため加速する少子化への対策は極めて重要である。本市としても少子化対策を強化する必要がある。そのことを踏まえ、出産から18歳までの切れ目のない子育て支援の充実を議会で提言している。

1. 各種支援の拡充へ

子育て施策の課題として、**子育てがしやすい環境、子どもを産み育てることが幸せだと実感できるまち**を実現しなければなりません。そのためには、結婚、妊娠、出産、子育て、教育、就労等の各段階等に応じた切れ目のない支援が必要で、国は「子ども家庭庁」を司令塔として、本格的に子どもの支援策を推し進めようとしています。

本市でも更なる**子育て施策の拡充**が必要です。これまでも議会で提言して参りました。

- 1. 出産育児一時金の増額(50万円へ)**
4月1日より、出産育児一時金が42万円から50万円に増額
- 2. 出産・子育て応援給付金と伴走型相談**
昨年末より、妊娠時に5万円の給付、そして出産後に5万円の給付が開始し、相談も行われます。
- 3. 病児保育の拡充(市は補助金で支援)**
新設の民間こども園の併設(せつつ幼稚園跡地・摂津市三島)で病児保育予定(詳細協議中)
- 4. 学童保育の毎週土曜日の実施**
4月1日より、これまで月1回の土曜保育を、全ての学童保育室で、毎週実施されます。
- 5. 公立こども園のおむつ持ち帰りの廃止**
今年の夏前後に、公立のこども園でのおむつの持ち帰りがなくなります。
- 6. キャリア教育の推進(生きる力を養う)**
摂津市商工会とも連携して、職場体験を増やす等、児童・生徒のなぜ学ぶのか等の学習意欲向上を図る取り組みを推進します。
- 7. 就学前教育の推進(実践手引きの改訂)**
学力格差は小学1年生で既に生じている。その差を埋めるべく、教育委員会は就学前教育の実践の手引きを改訂します。

増加する健康被害

新型コロナワクチン臨時接種

本当に大丈夫か?



新型コロナワクチン接種での副反応による健康被害が増加している。その事はあまり報道されず知られていない。**死亡認定も出ている現状を踏まえ、安全性が検証・改善されないままに臨時接種が継続されることは疑問である。現状ではリスクの大きい接種は慎重に期すべきである。**

1. コロナワクチンの令和5年度の臨時接種について

第45回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 資料
「今後の新型コロナワクチン接種の在り方について」抜粋

対象	時期	
	R5年5月	R5年9月
	令和5年春開始接種	令和5年秋開始接種
12歳以上	65歳以上	接種対象(公的関与○)
	基礎疾患あり	接種対象(公的関与○)
	医療従事者等	接種対象(公的関与×)
5~11歳	上記以外(健常な65歳未満)	接種対象外
	基礎疾患あり	接種対象(公的関与○)
	上記以外(健常な小児)	接種対象(公的関与×)
生後6ヵ月~4歳	接種対象(従来型ワクチン)(公的関与○)	
初回接種未完了	接種対象(従来型ワクチン)(公的関与○)	

上記表は、令和5年度の臨時接種のスケジュールです。記載の「**公的関与**」とは、「接種勧奨及び努力義務」の規定適用の有無を示します。×であれば、接種勧奨や努力義務の対象ではありません。医療従事者等も**努力義務は負いません**。完全な個人判断での接種となります。

令和5年5月からの接種は、65歳以上と基礎疾患ありの方などが対象です。5月接種でのワクチンはオミクロン株対応で、医療機関からの**副反応疑いで死亡報告**も出ているものとなります。

乳幼児に関しては初回接種(1~3回)が継続されます。これも健康被害を起している従来型のワクチン使用です。

2. 新型コロナは季節性インフルエンザより弱毒化している。

財務省資料「**社会保障**」(2022年11月7日付け)から、**オミクロン株**は季節性インフルエンザよりも**毒性が弱い**実態となっています。詳細は下記表をご参考下さい。

種類	世代	重症化率	致死率
新型コロナウィルス第7波(BA.4.5)(R4.6.25~8.21)	60歳未満	0.01%	0.004%
	60歳以上	0.14%	0.475%
季節性インフルエンザ(H29.9~R2.8)	60歳未満	0.03%	0.01%
	60歳以上	0.79%	0.55%

令和5年度において、市は子育て支援の充実を図るために、更なる取り組みを行います。その内容を一部抜粋したのが、上記になります。

提言してきた**学童保育サービス向上も実現**しました。引き続き、議会にて、子育て支援の充実に取り組みんで参ります。

また、子ども達の生きる力の向上のために、キャリア教育や就学前教育の更なる推進にも力を入れています。それは着々と具体化されています。

2. 児童虐待防止への更なる対策

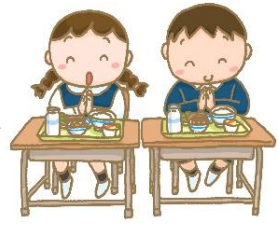


市は児童虐待防止の取組みを進め、昨年10月には警察との**情報共有の協定**を締結しました。

私は昨年議会にて「**児童虐待防止には外的アプローチと内的要因の改善(虐待の連鎖を防ぐ)の両方が必要**」と提言しました。市は4月から、内的要因の改善の取組み、即ち保護者自身の心の改善(心の傷をいやす・克服する)で、虐待を無くすための**親支援回復プログラム**を実施することとなりました。

笑顔を取り戻せる家庭が増える取組みを児童虐待防止策からも進めます。

3. 少しでも早い全員喫食を！進む給食センター構想



吹田市との給食センター共同構想が破談して以降、教育委員会は他の候補地を検討し、現在、**鶴野第2公園が候補地**として挙がっています。

中学校給食は現在、選択制となっており、喫食率は約7%となっています。教育委員会は**中学校給食の全員喫食を行う方針**を掲げ、令和8年の後半での実施を目指しています。そのため、給食センターの建設地が課題となっていました。

その候補地として、今年2月に鶴野第2公園が挙げられました。鶴野第2公園の移設・代替として今年5月頃に**閉鎖される環境センター跡地**へとその機能を移すことも合わせて、市から議会へと提示されました。

まだ候補地で予定地ではありません。地域住民等への丁寧な説明会等も実施し、対策を講じる等事業実現に向けて取り組んでいくとのことですが、保護者方のニーズの大きい**中学校給食の全員喫食**に向けて着実に進めるよう、引き続き**議会から提言**して参ります。

3. 過去最多の健康被害認定数を更新中

疾病・障害認定審査会 感染症・予防接種審査分科会 審議結果
(新型コロナワクチン分) 令和5年1月12日・1月13日・2月10日分 認定者 抜粋

性別	年齢	請求内容	疾病・障害名	関連する基礎疾患等
女	96	死亡一時金・葬祭料	急性心不全	有
女	88	死亡一時金・葬祭料	脳出血	有
男	80	医療費・医療手当	うっ血性心不全	
男	73	死亡一時金・葬祭料	突然死	有
男	66	死亡一時金・葬祭料	突然死	有
男	47	医療費・医療手当	重症筋無力症の再発	
女	45	医療費・医療手当	冠攣縮性狭心症	
男	36	死亡一時金・葬祭料	急性循環不全	
女	36	障害年金	右上腕筋力低下、右上腕末梢神経障害	
男	22	医療費・医療手当	血球貪食性リンパ組織球症	
男	15	医療費・医療手当	急性心筋炎	

増える突然死、コロナワクチン接種での健康被害認定。死亡認定41件となり、基礎疾患を抱える方も、健康な方も、**高齢者も若者も健康被害が続出、...**

新型コロナワクチン接種による**健康被害が増え続けています**。令和5年3月14日の時点で、健康被害の救済制度への進達受理件数は約6,650件、認定件数は**死亡41件**を含め、**約1,645件**です。昭和52年からの各種ワクチンの予防接種健康被害認定者数でコロナワクチンが**わずか3年で、過去最多**となっています。

上記表は認定された一部を抜粋しました。厚労省のHPで閲覧できるもので、私はこれを見て愕然としました。**健康被害の実態は相当なもの**です。副反応疑いは2022年12月18日時点で、約3万6千件で、認定件数はさらに増えるでしょう。

4. 市へワクチン後遺症等への対応を求める。

令和5年第一回定例会等の議会において、市に対して**コロナワクチン接種での副反応による健康被害ワクチン後遺症等への対応**を求めました。その内容は上記の通りです。

コロナの弱毒化を踏まえ、今後のコロナワクチン接種は**メリットよりもリスクの方がはるかに高い**と言え、**特に小児・幼児への接種には慎重な判断**が必要です。

